

創立60周年記念式典で喜びの言葉を述べる園児たち 13日午前、小鳩幼稚園



60年の誕生日、おめでとう

小鳩幼稚園 元気の歌声と遊戯で祝う

市内東本町2、学校法人・小鳩幼稚園（大矢良太郎理事長、櫻井もゆる園長、園児数119人）が3日、創立60周年記念式典を開いた。園内では、園児たちが描いた自画像が出迎え、手作り感あふれる式典。長い歩みを元気の歌声と遊戯で祝った。

市内には戦前、市立の幼稚園があったが、戦後、市

の方針で廃止され、保育所に衣替えすることになった。このため、所得制限などで利用できない子どもたちが出てきたことから、市内の有志が幼稚園設立に向けて会を立ち上げ、民間の創意で小鳩幼稚園が誕生した。

1953年には西本町1の浄願寺の一隅で試験保育を始め、同年幼稚園設置許可が交付。71年には上越地方で第1号の学校法人として認められた。「心もからだも丈夫な子ども」などを教育目標に掲げ、今春までの卒園児数は約3400人。マーチングバンドをはじめ、幼児教育、子育て支援など幅広い活動を進めてきた。

式典は「60回目のお誕生日おめでとう」と全園児による喜びの言葉、くす玉割りで幕を開けた。大矢理事長は創立以来の歩みを振り

返りながら、「大勢の皆さんの尽力で今日に至った。時代の流れに合った幼児教育を実施したいと職員一同頑張っており、ぜひ盛り上げてもらいたい」と式辞を述べた。

また、保護者による鳩和会の桑山智子会長が「子どもとともに成長させていただけていることに感謝したい」と祝い、櫻井園長は「子どもたちがいつも笑顔でいるために、創立当時から一つ一つ引き継がれ、積み重なった教育を大切にしながら、真摯（しんし）に向き合っていきたい。保護者の力を借りながら、共に手を携えて、子どもたちにとってより良い園づくりをしていきたい」とお礼の言葉を述べた。続いて、園児たちのアトラクションが行われ、遊戯やタンバリン演奏、マーチングバンド演奏で節目の年を祝った。